

DXによる教育の質的転換支援の取組

清泉大学・清泉大学短期大学部

DXによる学修者本位の学修の実現

①取組の内容

学修成果可視化システムにより、全ての開講科目ごとに授業目標の達成度に係る学生の自己評価入力を実施しています。入力されたデータは、IR委員会において全体の傾向分析のうえ、教員に対して可視化しています。

上記のデータに基づき、担任及びメンター教員は各学生に対してアドバイスを実施することにより学修改善を図るとともに、全体の傾向分析の結果はFD委員会に報告され、教育課程の適切性の検証に用いられることとなっています。また、学内検証と共に、外部評価委員会にて取組、指標の進捗について評価していただいています。

②実現に向けた目標

- ・学生の学修計画に係るアドバイスの実施数：年間1回以上/学生
- ・各授業の授業満足度：4.2

DXによる効果的で質の高い学修の実現

①取組の内容

アクティブ・ラーニングの向上を図るために対面授業とオンライン学習の併用授業「データサイエンスとAI」を開講しています。この授業では、授業コンテンツとして他大学のオンデマンドビデオを使用しています。授業参加へのモチベーションアップを図るため、オンデマンドビデオの視聴状況をモニタリングし、学生教員間の掲示板に毎回掲載することで、学生の主体的学修を促し、全員が科目修了できるように工夫しています。なお、この授業に対する学内検証と共に、外部評価委員会にて取組、指標の進捗について評価していただいています。

②実現に向けた目標

- ・授業履修・修了率：2026年度までの在学者のうち、50%以上
- ・授業満足度：4.2